

平成26年4月3日
ＪＲ北海道釧路支社

「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

ＪＲ北海道では、平成26年春の全国交通安全運動の実施にあわせ、踏切事故の防止を図るため4月6日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には発炎筒や非常ボタン等で列車を止める」ことなどの呼びかけを行います。

また、これからの時期は、子供達の外遊びの機会が多くなることから、線路内立ち入りや置き石等の禁止の呼びかけを学校や幼稚園、地域の方々と協力して行います。



踏切事故防止キャンペーン啓発活動の様子

1 実施期間

平成26年4月6日（日）から4月15日（火）までの10日間

2 実施内容

- ・ 踏切、駅頭でのリーフレット、ポケットティッシュ配布による協力要請
- ・ 小中学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による協力要請
- ・ 主要駅・列車内での業務用放送による協力要請
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置による協力要請
- ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問し啓発活動の協力要請
- ・ テレビ・ラジオCM及び札幌駅西口コンコースでのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

3 実施計画

（別紙）釧路支社管内における事故防止PR活動

<平成25年度の踏切事故>

踏切事故の発生件数は6件で、平成24年度より1件減少しました。6件の踏切事故のうち6月10日江差線（神明駅～吉堀駅間）清踏切で発生した乗用車と列車の衝突事故では乗用車の同乗者の方が命を落とされております。

このほかにも悲惨な事故に繋がりがかねない踏切の無理な通行が多数発生しております。また、警報機が鳴っている踏切を無理に通行したことが原因と考えられる遮断ボールの折損は年間に500件前後発生しています。

(別紙)

釧路支社管内における事故防止PR活動

各地区において踏切事故防止の啓発活動を行います。啓発に際しては、ノボリを掲出し、各地区のJR社員が踏切事故防止キャンペーン用ポケットティッシュやリーフレットを配布し、JRご利用の皆様や踏切通行者の皆様に広く踏切事故防止のお願いを呼びかけていきます。

また、一部の踏切における啓発活動につきましては鉄道警察隊の方々にも参加いただき啓発を行う予定となっております。

帯 広 地 区	10号団地踏切（西帯広駅～帯広貨物間） 4月 7日(月)10:30～11:00 ほか7踏切で啓発予定（キャンペーン期間中）
釧 路 地 区	木工場踏切（釧路駅構内） 4月 7日(月)13:00～13:30 ほか6踏切で啓発予定（キャンペーン期間中）

※ なお、当日の天候等により、一部予定を変更する場合があります。

※ 上記のほか各現業機関においても管内各踏切でPR活動を実施します。